

学校法人 豊橋インターナショナルアカデミー

中部ランゲージアカデミー

2026.4 月公表

(2025 年度分)

自己点検・評価

本校は、教育水準の向上と適切な業務運営を継続するために、教育活動の状況に関して、自己点検自己評価項目を定めて、定期的に点検・評価を行う。

各項目は、以下の4段階で評価を行った。

評価基準

A：「達成している」あるいは「適合している」

B：ほぼ達成しているが一部不十分なところがある

C：努力しているが達成しているとは言えない

D：改善が必要（達成に向けて努力している）

自己点検・評価項目 アンケート

このアンケートは当校の運営における課題を発見し、改善を行うことを目標としています。

1 理念・教育目標

1-1 教育理念が周知されているか	B
1-2 確実に日本語能力を高める指導がなされているか	B
1-3 日本で快適に生活するための指導がなされているか	A
1-4 日本や日本文化に興味を持つ指導がなされているか	A
1-5 卒業後に希望する進路に進める指導がなされているか	A

2 学校運営

2-1 日本語教育機関の認定日本語教育機関の認定基準に適合している。	B
2-2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確にされ、教職員に周知されている。	B
2-3 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	B
2-4 意思決定が組織的になされ、かつ効率的に機能している。	B
2-5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	B
2-6 外部からの情報収集が効率的に行われ、共有化する仕組みがある。	A
2-7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して理解できる言語で情報提供を行っている。	A
2-8 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A
2-9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ組織的に行われている。	A
2-10 校長、主任教員、専任教員、非常勤教員、事務職員の職務内容、責任を権限を明確に定め、周知されている。	A
2-11 運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり機能している。	A

3 教育活動計画

3-1 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A
-----------------------------	---

3-2 教育目標に向けたカリキュラムを編成している。	A
3-3 国内、または国際的に認知された熟達度の枠組みを参考にしたレベル設定をしている。	A
3-4 教育目標に合致した教材を選定している。	A
3-5 補助教材、生教材を使用する場合はその出典を明らかにし、著作権法に留意している。	A
3-6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	B
3-7 教員の能力、経験等を勘案して適切な教員配置をしている。	A
3-8 学生の熟達度を特定の試験の成績だけでなく「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけ理解する試みを行っている。	B
3-9 当該学期の学習内容及び学習予定等を学生に開示している。	A
3-10 出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善に生かせるような形で授業記録簿を残し、記録内容を関係教員間で共有している。	A

4 教育環境

4-1 授業開始までに学生の日本語能力を判定し、適切なクラス編成を行っている。	B
4-2 教員に対して、担当する学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴等の指導に必要な情報を伝達している。	B
4-3 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	A
4-4 理解度・到達度の確認を適切に行っている。	B
4-5 学生の自己評価を把握している。	B
4-6 個別学習指導の学習支援者が特定され、適切な指導を行っている。	B
4-7 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を得ている	A
4-8 授業を含む教育活動全体の検証と確認ができるシステムになっている。	A
4-9 評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取り組みに反映されている。	A
4-10 評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	A

5 成績・授業評価

5-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また、その基準と方法を開示している。	B
5-2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。	A
5-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	B
5-4 授業評価を定期的実施している。	B
5-5 学生による授業評価を定期的実施している。	A
5-6 授業評価の結果が教育内容や教育方法の改善、教員の能力向上等の取り組みに反映されている。	B

6 教員関連項目

6-1 校長、副校長。主任教員、本務等教員、非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A
6-2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力、資質を明示している。	B
6-3 教員及び職員の採用方法、雇用条件を明文化している。	B
6-4 研修等により、教員及び職員の質の向上と支援力の強化の取り組みをしている。	B
6-5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	B
6-6 教員及び職員の評価を適切に行っている。	B
6-7 新任教員、初任教員を対象とし、明示された必要な能力・資質を向上されることを目的とした研修を実施し、振り返りも実施している。	B
6-8 他機関の実施する研修会等への参加を促している。	B
6-9 教職員評価の為の体積、方法及び評価の基準を定めて、開示している。	B
6-10 上位者、自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、他報告的な評価システムが導入されている。	B
6-11 評価結果を的確に教員に伝え、それが教員の能力・資質の向上に結び付いている。	B
6-12 評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	B

7 教育成果

7-1 入学から修了・卒業までの学習成績記録、保管し、適正に管理している。	A
7-2 修了・卒業の判定を適切に行っている。	A
7-3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A
7-4 卒業または修了後の進路を把握している。	A
7-5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取り組みを行い、進路先での状況や社会的評価を把握している。	A

8 学生支援

8-1 学習支援計画を策定し、支援体制を整備している。	B
8-2 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。それが学生及び職員に周知されている。	B
8-3 日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	A
8-4 留学生活に関するオリエンテーション/ガイダンスを入学直後に実施している。また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。	A
8-5 住居支援を行っている。	A
8-6 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A
8-7 健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A

8-8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	A
8-9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A
8-10 交通事故等の相談体制を整備している。	A
8-11 危機管理体制を整備している。	A
8-12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定め、避難訓練を定期的に実施している。	A
8-13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	A

9 進学

9-1 進路指導担当者を特定している。	A
9-2 学生の希望する進路を把握している。	A
9-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A
9-4 入学時から一貫した進路指導を行っている。	A
9-5 卒業後の進路を把握している。	A

10 在留に関する指導

10-1 入管事務担当者を特定し、その職内容及び責任と権限を明確に定めている。	A
10-2 担当者は研修等により最新かつ適切な情報収集を継続的に行っている。	A
10-3 地方出入国管理局により認められた申請取次者を配置している。	A
10-4 入管法上の留意点について、学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A
10-5 在留に関わる学生の情報を正確に把握している。	A
10-6 在留上で問題のある学生への個別指導を行っている。	A
10-7 不法在留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを継続的に行っている。	A
10-8 過去3年間、不法在留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させていない。	A

11 教育環境

11-1 教室内は十分な照度があり、換気がなされ、語学教育を行うに必要な遮音性が確保している。	A
11-2 授業時間以外に自習できる部屋が確保している。	A

11-3	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A
11-4	視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備、教育機器を整備している。	A
11-5	教員と職員の執務に必要なスペースを確保している。	A
11-6	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	A
11-7	法令上必要な設備等を備えている。	A
11-8	廊下、階段等は緊急時に危険のない形状である。	A
11-9	バリアフリー対策を施している。	A
11-10	視聴覚教材や ICT を活用した授業が可能な教育用機器及び設備が備わっている。	A
11-11	授業時間外に自習できるスペース及び、リソースを提供している。	A

12 募集と選考

12-1	理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画を策定している。	B
12-2	機関に所属する職員が入学志願者に対し情報提供、入学相談をしている。	B
12-3	教育内容、教育成果を含む正確で新しい情報、求める学生像、応募資格・条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	B
12-4	海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	B
12-5	入学選考基準及び選考方法が明確にされ、適切な体制で入学選考を行っている。	B
12-6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者に関しては、学校関係者が面接等を行うようにしている。	B
12-7	入学志願者の学習の能力、勉学意欲、日本語能力を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者のニーズと合致していることを確認している。	B
12-8	入学検定料、入学金、授業料等の納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要となる費用が明示されている。	B
12-9	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	B
12-10	海外募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。	B

13 財務

13-1	財務状況は中長期的に安定している。	B
13-2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	B
13-3	適正な会計監査がなされている。	B
13-4	入学者の募集や生徒の入学手続の支援等を行う者に対して支払った仲介手数料等の手数料の適正性が確認できている	B

14 法令順守

14-1	法令遵守に関する担当者を特定している。	B
------	---------------------	---

14-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。	B
14-3 個人情報保護のための対策をとっている。	B
14-4 地方出入国管理局、その他の関係官公庁、日振教への届け出、報告を遅滞なく行っている。	B

15 貢献

15-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献。地域貢献を行っている。	B
15-2 学生ボランティア活動への支援を行っている。	B
15-3 公開講座等を実施している。	B
15-4 小中学校の国際理解教育、地域活動への参加、地域の人々との交流活動を行っている。	B
15-5 地域における日本語教育等を積極的に行っている。	B

16 情報公開

16-1 機関の設置は、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。	A
16-2 募集及び納付金に関する情報を公開している。	B
16-3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供をおこなっている。	B
16-4 情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。	B
16-5 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	B

日本語教育機関名：中部ランゲージアカデミー

点検・評価実施日：2026年4月1日

実施責任者 校長

